

令和3年5月19日

国土交通省中部地方整備局

# インフラ分野のDXを担う人材育成の拠点誕生

## － 中部インフラDXセンターを開設 －

このたび、「コロナ禍に対応した新しい仕事の進め方・デジタル化による建設業の仕事改革」の中部地方整備局の取り組みの一環として、インフラ分野のDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進させるため、人材育成の拠点として、「中部インフラDXセンター」（名古屋市東区）を開設します。また、これに伴う開設式を行います。

### 1. 日 時

令和3年5月25日（火） 13:30～14:30

### 2. 場 所

名古屋市東区大幸南1-1-15

中部地方整備局中部技術事務所内 中部インフラDXセンター

### 3. 添付資料

別添1 取材登録票

別添2 施設紹介

別添3 開設式の概要

別添4 Web会議「Webex 会議参加者マニュアル」

### 4. その他

#### ●開設式の公開

開設式の様子はWeb会議形式で建設業界関係者（設計コンサルタント、施工業者、開発メーカーなどの民間企業）、建設系の分野を学ばれている学生、中部地域の自治体の職員、中部地方整備局の職員の向けに公開しています。

使用するWeb会議システム：Cisco Webex

ブラウザの場合 <<https://cbrmlit-webmeeting.webex.com/cbrmlit-webmeeting/j.php?MTID=mb348a12f838732a561fccf351332cc24>>

アプリの場合 ミーティング番号：184 162 1678

パスワード：3BFgNJPRg74

#### ●当日の開設イベントおよび内覧

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、報道関係者に限り当日取材が可能です。取材を希望される報道関係者におかれましては、

5月24日（月）12時までに取材登録書（別添1）をFAXにて送付願います。

なお、中部インフラDXセンター玄関にて13:10から受付を行います。

当日配布資料は、施設概要資料・施設パンフレット等を予定しています。

### 5. 配 布 先

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会

#### 問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 企画部

建設情報・施工高度化技術調整官 油井 康夫（ゆい やすお）

建設専門官 佐藤 智保（さとう ともやす）

（技術管理課） TEL：052-953-8131

FAX：052-953-8294

## 「中部インフラ DX センター開設式」取材登録票

- 取材を希望される報道機関におかれましては、事前のご登録をお願いします。  
登録は本登録票に記入いただき、期限までに下記へ FAX で送付ください。
- 取材希望の状況等により、人数を調整させていただく場合があります。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため換気等の対策に努めておりますが、取材にあたりましては、マスクの着用、事前の検温をお願いします。

送付先 中部地方整備局 中部インフラ DX 推進室

FAX 番号： 0 5 2 － 9 5 3 － 8 2 9 4

送付期限 5 月 2 4 日（月） 1 2 時

（下記にご記入の上、ファクシミリにて送付をお願いします）

報道機関名
ご氏名      フリガナ
予定人数
連絡先（電話番号）

## 中部インフラDXセンターって何？

インフラ分野（建設業）においても少子高齢化による担い手不足が課題となっています。一方で、スマートフォンやテレワーク、自動運転技術の普及など社会のデジタル化が浸透しつつあり、より豊かな社会となるよう働き方改革も進められています。このような中で、あらゆる分野でデジタル化、ICT技術のより一層の推進により、より効率的で、安全・安心な社会となるように取組みが進んでいます。

インフラ分野においてもデジタル化による変革、DX（デジタルトランスフォーメーション）を起こそうと取組んでいます。その波を起こし、使いこなす人材を育てる施設が中部インフラDXセンターです。このセンターは研修施設の役割に加えて、わかりやすくインフラDXを体感してもらうための体験ブースがあります。また、災害復旧での高度な技術支援の中核を担う役割も備えています。

## 3次元設計体験



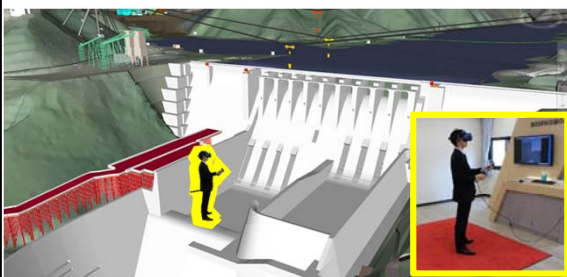
3次元の設計ソフトが使えるPCがあり、3次元設計データを触る体験ができます。小規模な研修、自習スペースとしても利用できます。

## インフラDX研修



3次元の設計ソフトが使えるPCや大型モニター、スクリーンのある研修スペースです。高速・大容量通信設備を用いて、災害復旧では現地に即時に高度な技術支援することもできます。

## VR（仮想現実）体験



3次元設計データで作られた空間へ入る体験ができます。不具合の有無や完成したイメージの確認、安全対策の検討などの体験ができます。

## 1階 体験ブース

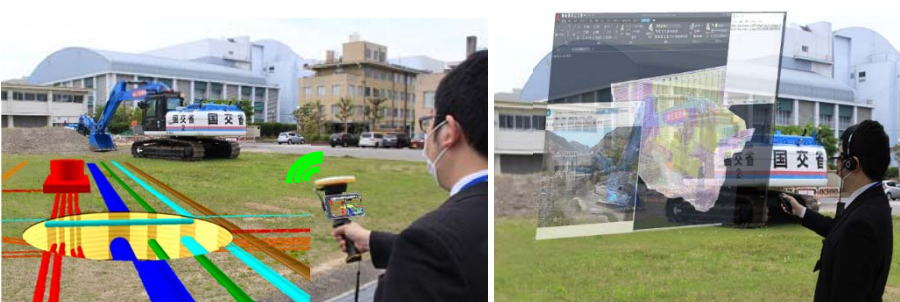
## 2階 研修ブース

## 遠隔操作体験



危険な場所など離れた安全な場所から、遠隔で建設機械の操作する体験ができます。

## AR（拡張現実）体験



現地で簡単、安全に図面などのデータ確認ができる体験として、埋設物が風景と重ね合わせて表示される端末やスマートグラス（カメラ付眼鏡型表示端末）の体験ができます。

## 事例紹介等を動画で紹介

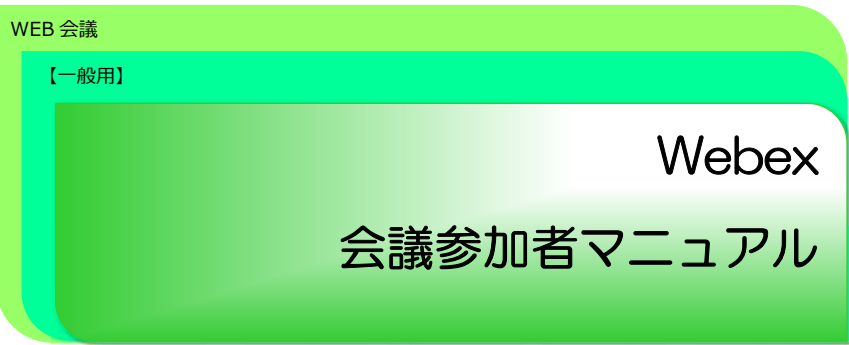


大型モニターによるWeb会議やパネルディスカッションもできます。

## 開設式の概要

13:00～13:30	受付
13:30～13:45	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 局長挨拶</li> </ul> 概要説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中部地方整備局におけるインフラ分野の DX の取組み</li> <li>・ 施設概要説明</li> </ul>
13:45～14:25	セレモニーイベント（30 分） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ パネルディスカッション</li> </ul> 「中部インフラ DX センターに期待すること」           参加予定者           鈴木 温 名城大学理工学部社会基盤デザイン工学科 教授 秀島 栄三 名古屋工業大学大学院工学研究科 教授 矢吹 信喜 大阪大学大学院工学研究科 教授 山崎 俊夫 函館工業高等専門学校社会基盤工学科 准教授 国土交通省中部地方整備企画部長 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ デモンストレーション（10 分）</li> </ul> 新丸山ダム事業における 3 次元設計と遠隔臨場
14:30	閉会
14:30～15:00 （希望者に対して）  (15:30)	施設紹介（希望される場合は、施設体験）  質疑応答

※内容および時間は変更する場合があります。



令和 2 年 11 月 09 日 1.1 版

【目次】

1. 会議（ミーティング）に参加 ..... 2

2. 会議（ミーティング）から退出 ..... 5

**推奨環境**

**OS**

- ・ Microsoft Windows 10 以降 (32 ビット/64 ビット)
- ・ Mac OS X 10.13 以降

**ブラウザ**

- ・ Internet Explorer 11
- ・ Firefox 48 以降
- ・ Chrome 65 以降
- ・ Edge 25 / EdgeHTML 13

**スマートフォン・タブレット**

- ・ iOS
- ・ Android

※スマートフォンで参加する場合は、アプリが必要です。  
招待 URL を受け取った場合、リンクをタップするとアプリの  
ダウンロード画面が表示されます。

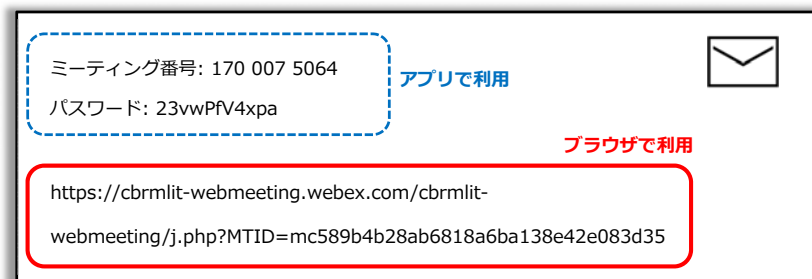
Cisco 公式サイトより (2020/10/23 時点)



## 1. 会議（ミーティング）に参加

- ・主催者から会議番号など受領後、開催時間の 15 分前から参加できます。
- ・本操作マニュアルではブラウザ（Firefox）を利用した操作方法でご紹介していますが、その他ブラウザ・アプリでも利用することは可能です。

1. 主催者から会議番号などを受領します。



2. ブラウザを起動し URL を入力後、「ブラウザから参加します」をクリックします。



3. 下記画面が表示した場合は「了承しました」をクリックします。

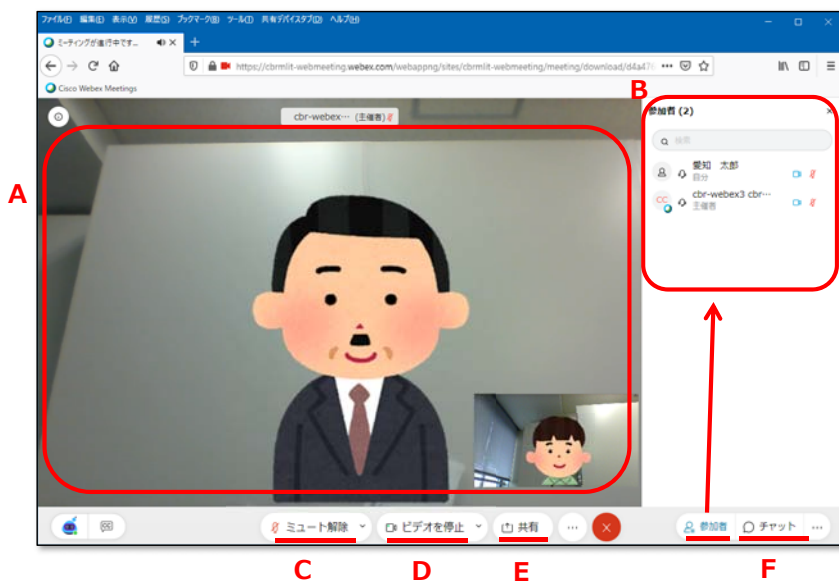


4. 参加する会議名を確認します。

音声を「ミュート」に、「ミーティングに参加」をクリックします。



## 5. 会議に参加します。

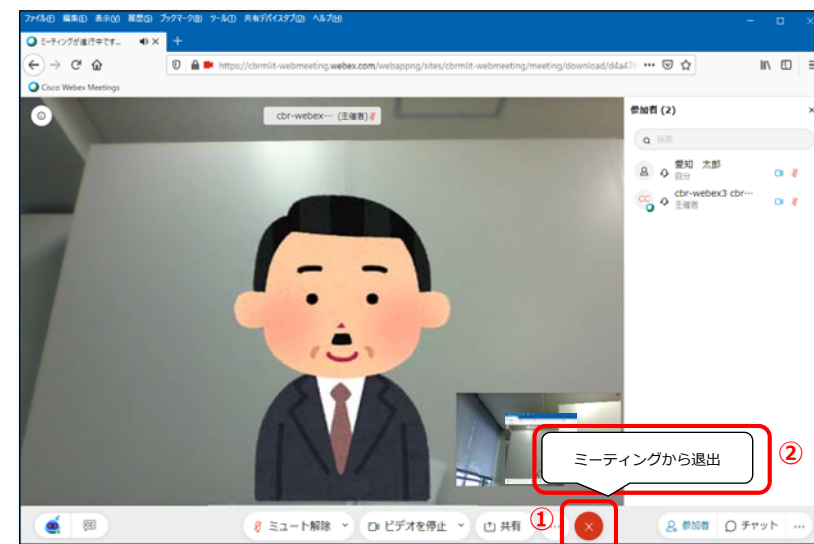


< 主に利用する機能 >

- A 参加者の画像が表示します
- B 参加者の一覧を表示します
- C マイクの ON/ミュートの切り替えをします
- D カメラの ON/OFF の切り替えをします
- E 自分の PC にある資料などを参加者に共有できます
- F 参加者に向けて、チャットでの発信ができます

## 2. 会議（ミーティング）から退出

### 1. 会議終了後、退出します。



### 2. ブラウザを終了します。